



翼



## 「グリーンカードを手渡す毎日に」

校長 井上 雅子

緊急事態宣言中ではありましたが6月5日（土）に学年別の運動会を行いました。様々な制限や不安の中でしたが、全ての学年が一生懸命に頑張る運動会となりました。

運動会の前に、少年サッカーで使われているグリーンカードの話をしました。スポーツで悪質な反則行為をした場合に使われるのは、レッドカード、イエローカードで審判が与えるものですが、グリーンカードはワールドカップやJリーグの試合でお目にかかることはなく、12歳以下の少年サッカーで用いられています。このカードが出されるのは、例えば、怪我をした選手への思いやりが見られたとき、ファウルプレーをした際の「ごめんなさい」という仕草や握手が見られたときなどです。審判はグリーンカードを出すことで、それは良い行動ですよ、それは他の人の手本ですよと伝えているのです。

運動会の練習中では、生徒の皆さんにグリーンカードを差し上げたいと思う行動がたくさん見られました。中縄跳びや、全員リレーのバトンパスの練習で、「ごめん！もう一回！」「どんまい！」「頑張れ！」「行くぞ」などの声かけ。お互いに励まし合い、支え合う、心配り、優しさを重ねる中で、良いクラス、良い学年、良い学校を創っていくことにつながりました。もちろんスポーツの大会ですから、体を鍛える、苦しさに耐えるなどもあると思いますが、感染拡大が収束せず、不安を抱える日々だからこそ、チームメイトの言葉や行動から優しさ、あったかさを感じることに、支え合うことの嬉しさを感じる運動会になりました。4月にスタートしたクラスや学年が、大きく成長する集団になったと感じます。

さて日本サッカー協会が配っているグリーンカードには英語で大きく「DREAM」と書いてあるそうです。その下には小さく日本語で「夢があるから強くなる」と書かれているそうです。スポーツを通じて勝ち負けにこだわるのではなく、夢や目標をもって自分を磨く、成長させるという意味を感じる、DREAMです。

運動会が終わっても、グリーンカードがあちこちで見られる毎日でありたい、ひばり中生らしく目標に向かって主体的で一生懸命に取り組む姿をこれからも見たいと思います。

## ■運動会 6月5日（土）

緊急事態宣言が延長されましたが、学年別で実施しました。種目は「全員リレー」と「中縄跳び」の2種目です。緊急事態宣言下、世の中の閉塞感の中での運動会でしたが、クラスの団結、仲間づくりが確実にできた行事となりました。

実行委員が作ったスローガンは「一心盛勝」。「全校生徒で心をつにして、コロナ禍で気持ちが沈みがちだが勝利を目指して運動会を盛り上げよう」という意味で創作した四字熟語です。

全学年ともに行進やひばりランなど、とても立派で見事でした。特に3年生は学年のチームワークと一体感、最後の運動会という気持ちがあふれるものでした。保護者の方からも、一生懸命頑張

っていて素晴らしいという声をたくさんいただきました。制限の中ではありますが、体育行事委員を中心に、全校で達成感のある運動会にしてくれました。

P T A役員とおやじ倶楽部の皆さまには、保護者受付や駐輪場の整理などをお願いすることにいたしました。無事に行うことができ本当にありがとうございました。



## ■新校舎移転に向けて

引っ越しの準備、新校舎での教育活動開始のための準備、自校給食の準備などを進めていますが、現在の校舎や地域とのお別れイベントの準備も行っています。昨年は生徒会が行った生徒アンケートで新校舎に持っていきたいもの、残していききたい伝統や行事などを確認しました。現在は、生徒会を中心に地域配布する「お礼」の作成、7月19・20日に行う予定の、新校舎移転イベント「感謝の気持ちを込めた大掃除」「黒板アート」に向けて取り組んでいるところです。

## ■生徒の活躍（敬称略）

野球部 春季大会 11ブロック優勝

男子テニス部団体 ブロック第三位 都大会出場

陸上部 第72回 東京都中学校地域別（多摩東部・西部）陸上競技大会

男子200m 川端琉射（記録24.92） 都大会出場

共通男子4×100mリレー（安藤、大森、田口、川端）記録47.12で多摩東部9位